

OSAKA

かえん

議会だより



みんなの路線バスを、  
4市町村が継続！  
(詳細は5ページ)

令和5年12月定例会議

令和5年11月臨時会議

議案審議・審議結果など……………P 2～6

これが聞きたいねん一般質問 ……P 7～15 ほか

2024.3 No.162

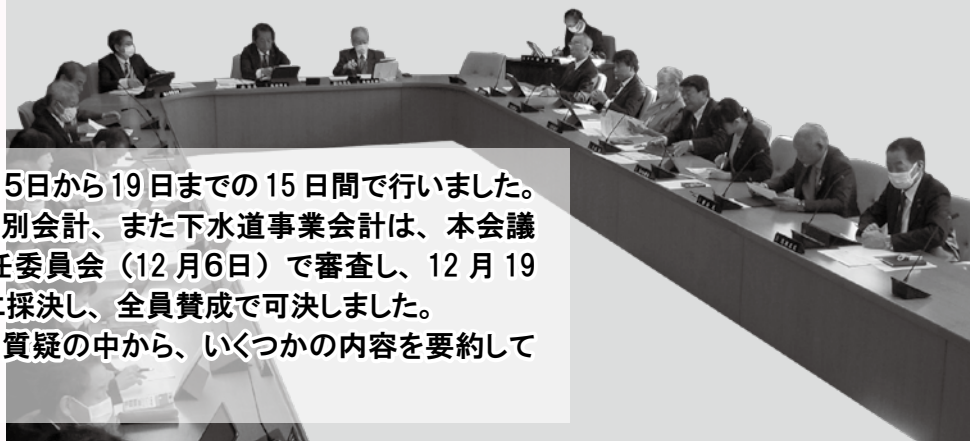
発行／河南町議会

編集／広報常任委員会

# 12月定例会議



## 予算・決算常任委員会



令和5年12月定例会議は、12月5日から19日までの15日間で行いました。補正予算の一般会計と2つの特別会計、また下水道事業会計は、本会議の5日に付託した予算・決算常任委員会（12月6日）で審査し、12月19日の一般質問（2日目）修了後に採決し、全員賛成で可決しました。ここでは、本会議や委員会での質疑の中から、いくつかの内容を要約してお伝えします。

### 予算・決算常任委員会

#### 歳入補正

◆ 町債（消防広域化施設改修事業債） 8190万円の減

**問** 消防広域化のために町が負担する予定の予算が不要になったということなのか。

**答** 令和5年度は、負担する必要がなくなった。令和6年度以降に負担することになる。消防指令センターの改修工事、はしご車の購入費について、令和5年度は消防の広域化を進めて行く中で、当初予算の段階では、広域化が成立するか不確定の状況であった。このため構成8団体で負担割合を決め、その予算が河南町は約8千万で、財源は各構成団体で起債することになっていた。組合が令和6年1月から設立することが正式に決まり、組合が起債して事業を進めることになったため、予算が減額となった。しかし、次年度以降、起債の償還が発生するので、これについて町の負担割合を負担することになる。

#### 歳出補正

◆ 低所得世帯支援給付金給付事業 1億4284万円の増

**問** 年内に支給される予定なのか。準備状況は。

**答** 令和5年12月1日現在の基準日の非課税世帯を対象としており、対象者を確定させる作業や確定後に国に届け出を行い、国の許可が下りてからと考えると年内は難しい。できる限り、早く対応していく。

◆ 農道水路整備用現物給付事業 75万円の増

◆ 道路維持事業 84万円の増

**問** 原材料を支給する条件とは。

**答** 主な条件として農業用水路の例では、受益戸数は6戸以上、受益面積が0.8ha以上である。農道の例では、受益戸数が4戸以上、受益面積が0.3ha以上。灌漑用取水施設では、受益戸数が8戸以上、受益面積が1ha以上である。町道の道路維持に関しては、幅員が4m未満である道路と規定している。

◆ 人件費 2353万円の減

**問** 早期退職者による人件費の減について、職場環境に問題があるので

## 新たな地域公共交通へ 支援を求める意見書

全会一致で可決

バス路線の確保するには多額の予算が必要となる上に、近年の公共交通を取り巻く環境は、全国的にも運転者不足や乗客数の減少などで極めて厳しい状況にあり、人口の減少や少子高齢化の進展により、財政状況は年々厳しさを増している。4市町村による地域公共交通活性化協議会で審議決定された、バス事業廃止後の、新たな地域公共交通（バス路線）の確保に向けた各自治体の新たな地域公共交通施策に対し、支援適用を強く求める。（※文章は一部抜粋。）

国と府へ提出

提出先：国土交通大臣、大阪府知事

はないか。  
**答** 早期退職者がいることは課題であると考えている。コロナの対応や地方創生など新たな事業が増えている。そのため、職員一人ひとりの負担は増えている。対策として、臨時職員の雇用で対応している。退職者の補充に関しては例年の採用募集の中で欠員補充も考えて採用している。

**問** パワハラやセクハラなどの対応は徹底しているのか。

**答** 職務の通常求められる範囲を超えて、恫喝どっかっ的に指示を伝えるなどがパワハラに当たる。幹部職員は理解し、言葉遣いや指導の方法を注意するようにしている。

**問** 正規職員が4人退職し、非正規職員の予算が増えているということは、今後も非正規職員を増やしていくことを前提に人事政策を考えていくのか。

**答** 非正規職員を増やしていくとは考えていない。また正規職員は137人で予算計上しており、削減していくことも考えていない。基本的には現状維持でと考えている。

**問** 非正規職員の会計年度職員は、給与体系で1年経過すれば号給が増えていくのか（昇給はあるのか）。

**答** 会計年度職員にも昇給が発生する職員もいる。週に15時間30分以上6か月以上勤務していることが条件である。

**問** 会計年度職員の昇格はあるのか。

**答** 制度としては、昇格は考えていない。

◆ 三世同居・近居支援事業  
700万円の増



**問** 実際に利用した人へのアンケートや事業の効果に対する追跡調査などは実施しているのか。

**答** アンケート調査は行っていない。補助金を交付する際に、どのような形で利用したのかや資金繰りの計画などは聞いている。この制度は三世代の制限があるが、元々、河南町に住んでいて、両親が亡くなってから戻って来る時は利用できないなどの例がみられるようになってきている。このようなケースには、どのように対応するのかなど検討しなければならぬと考えている。

## 本会議

### 条例改正

◆ 河南町条例の一部を改正

町税の減免申請期限を「納期限前7日」までから「納期限」までに改正。

**問** 国からの通達で、平成27年から自治体の判断で変更ができたにもかかわらず、今になって条例改正する理由や経緯は。

**答** 納期限までとなっていた大阪府の自動車税。普通車に乗っていた人が、軽自動車に乗り換えをされた。軽自動車は、大阪府の自動車税と同様に納期限までと思っておられたが、町の軽自動車税は、納期限の7日前までであったため、減免することができないという事案があった。そのため、今回の改正に至ったという経緯である。

◆ 河南町土砂埋立て等の規制に関する条例の廃止

宅地造成等規制法が抜本的に改正

(次ページへ続く)

# 人事案件に同意

任期満了に伴う、教育長の任命に同意しました。

◆ **教 育 長**  
なかがわ おさむ  
**中 川 修 さん**

任期：令和5年12月20日から  
令和8年12月19日まで（3年間）

問 包括的に規制することだが、その内容は、

答 これまでは全国で基準が決まっていなかったが、日本全国一律の基準で取り締まることが法律化された。府内全域を包括的に規制することができることになった。

問 包括的に規制することだが、その内容は、

答 これまでは全国で基準が決まっていなかったが、日本全国一律の基準で取り締まることが法律化された。府内全域を包括的に規制することができることになった。

問 包括的に規制することだが、その内容は、

答 これまでは全国で基準が決まっていなかったが、日本全国一律の基準で取り締まることが法律化された。府内全域を包括的に規制することができることになった。

## 11月臨時会議 & 予算・決算常任委員会

11月の臨時会議は、11月9日に行われ、補正予算については、予算・決算常任委員会に付託し、審査しました。



(委員会での採決)

## 本会議・条例改正

### ◆ 河南町コミュニティバス運行に関する条例の一部改正

令和5年12月20日で金剛バスが廃止され、住民生活に重要な移動手段となるバス路線を維持するため、4市町村と連携し、コミュニティバス方式で運行を続ける。町内を運行しているカナちゃんバスの路線区域を広げて運行を行う必要性が生じた。そのため、現行の町内循環路線バスの金額に、新たな広域にまたがる路線を運行するための広域路線の金額と定期乗車券の使用料を追加する。料金や定期乗車券の当該料金については、金剛バスの運賃体系をそのまま踏襲し、当面の間は同額とする。

問 今までは回数券もあったが、今後はどうなるのか。

答 回数券は、廃止の方向性で考えている。

問 路線バスを今後も維持していくとなると、受益者負担と費用比率の均衡を保たなくてはならない。過度に税金に依存することになれば、継続できないのではないかと心配する。運行の経費と収入のバランスはどう考えるのか。

答 河南町は、たくさんの路線がある。また、5路線以外の部分を補完する部分もある。今後は利用者の人数なども考えて協議会に提案していく。

問 近鉄バス、コミュニティバスの今後の値上げについて法定協議会で決定するとあるが、河南町独自で決められないのか。

答 金額の設定は、公共交通会議である法定協議会で定めると法律で定められている。

## 予算・決算常任委員会・補正予算

### ◆ 金剛バス廃止に伴う代替交通確保

1億716万円の追加

問 運行経費だけで見ると、3か月の運行で5,000万円必要となっている。次年度の年間で考えれば、4倍の2億円が必要となる。町の考えは。

答 導入経費で、町の負担が1,906万円。運行経費で1億1,228万円。これを日にちで割れば、3,129万円になる。この3,129万円と導入経費の1,906万円を足すと今年度負担が5,000万円程度になる。次年度は、運行経費が3,129万円の4倍となるので1億1,200万円程度と考えている。

# 地域公共交通対策特別委員会



長年、町の公共交通機関として運行されていた金剛バスが12月20日をもって廃止するとの発表を受け、この特別委員会が令和5年9月の定例会議で設置されました。

議会も町側と共に、住民の皆さんの地域公共交通を存続できるよう進めて行くため、令和5年10月31日に第1回の地域公共交通対策特別委員会を開催しました。

ここでは、その特別委員会の内容を抜粋して掲載します。

- 問** 阪南線、さくら坂線は、近鉄バスが終日運行できないのか。
- 答** 全国的に運転手不足であり、近鉄バスも運転手や車両を捻出する余裕がないと聞いている。
- 問** 河南町では、運転手を確保できるのか。
- 答** 確保できる運転手の枠内で運行していく。
- 問** 金剛バスの車両を買い取るのにかかる費用は。
- 答** 5台で1100万円である。
- 問** 平石地区、持尾地区、青崩地区の公共交通はどのようにしていくのか。
- 答** やまなみタクシーが運行しているが、改めてニーズ調査などをして考える。
- 問** 今後、バス運行に変更があれば、4市町村の協議会の中で決めていくのか。
- 答** 複数市町村にまたがる路線は、協議会で決定される。
- 問** 金剛バスの車両には、ICカード機能が付くのか。
- 答** 費用がかかるので、今後、

検討する。

- 問** 以前から住民の要望があったバス停の移設よりも、警察が求めたバス停の移設を優先させた理由は。
- 答** 交差点内にあるようなバス停の移設を緊急措置として行ったが、その他の移設は協議会で決めていく。
- 問** 北大伴線を河南町が運行する理由は。
- 答** 車両、運転手を有効に利用するためである。費用は全額富田林市が負担する。



- 問** 車両の管理場所は。
- 答** 旧役場庁舎付近のスペースに旧金剛バス車両を、多目的広場にカナちゃんバスを保

管する。

- 問** 整備体制は。
- 答** 日常的に運転手が点検するが、不具合が生じたら指定の整備業者に委託する。
- 問** 運転手の雇用主体は。
- 答** 運行委託を行うので、MKや、みつばコミュニティなどの運行事業者が主体である。
- 問** 入札か。
- 答** 緊急なので随意契約である。状況が落ち着いたら一括での入札も考えている。
- 問** 赤字の補填は。
- 答** 近鉄バス・南海バスの運行経費も収入も会社で取ってもらうが、赤字分は協議会に請求される。
- 問** 協議会は、近鉄・南海の運行経費を詳細にチェックできるのか。
- 答** 協議会で話を詰めていく。
- 問** 旧役場庁舎周辺を、バスロータリーにする計画の進捗は。
- 答** 今は構想段階だが、実現に向けて調整している。

## 議会だよりをアプリからも読んでいただけます



スマホアプリ「マチイロ」で、議会だよりを配信しています。電車やバスなどの通勤・通学時間や、ちょっとした空き時間に、読んでいただけます。

※アプリは無料ですが、アプリのダウンロードや受信に通信料が発生する場合があります。



## 二十歳の集いに議員らが参加



1月9日、ふくふくドームで、令和6年「河南町二十歳の集い」が行われ、町議会議員が来賓として参加しました。今年の20歳の対象者は199人で、この日は124人が参加。

式典では、町議会議員を代表して、中川議長から祝辞が贈られました。その後、花束贈呈や参加者代表からの誓いの言葉、記念撮影などが行われました。

20歳の参加者たちは、久しぶりに会った友人たちと写真を撮り合ったり、談笑したりと、和気あいあいのひと時を楽しんでいました。

## 能登半島地震の被災者に義援金

1月1日に発生した能登半島地震で、たくさんの被災者が出ている被災地へ、災害の復興などに役立ててもらいたいと、町議会議員10人の義援金（10万円）を、1月18日に町議会を代表して中川議長と佐々木副議長が石川県の大阪事務所へ持参しました。



## 大阪南消防組合 議会議員の選出

浅岡正広 議員

12月5日の定例会議において、選出されました。

※任期は2年。今回は、議員の任期満了日（令和6年10月2日）まで。

# 審議結果

### 11月臨時会議

全会一致の可決議案	
件	名
河南町コミュニティバス運行に関する条例の一部を改正する条例の制定について	令和5年度河南町一般会計補正予算（第4号）

### 12月定例会議

全会一致の可決・同意議案	
件	名
議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	町長、副町長及び教育長の給料、手当及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について
一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	河南町税条例の一部を改正する条例の制定について
河南町手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	河南町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
美しい河南町環境条例の一部を改正する条例の制定について	河南町土砂埋立て等の規制に関する条例を廃止する条例の制定について
河南町防災会議条例の一部を改正する条例の制定について	令和5年度河南町一般会計補正予算（第5号）
令和5年度河南町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	令和5年度河南町介護保険特別会計補正予算（第2号）
令和5年度河南町下水道事業会計補正予算（第1号）	教育長の任命について
河南町農村活性化センター指定管理者の指定について	河南町と富田林市との間における消防事務の委託の変更及び廃止に関する協議について
河南町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	新たな地域公共交通へ支援を求める意見書



## 問 バス空白地の対応は

## 答 改めてニーズ調査が必要

**問** バス空白地となるエリアの今後は。

**答** やまなみタクシーを利用してもらえるよう、ニーズに応じて運行方法を検討する必要がある。

**問** バス廃止の判断基準は。

**答** 現段階で数値での判断基準はないが、継続乗降客調査を行って判断基準の材料とする。

**問** 平石には日本遺産に指定された経塚が2つあり、町でも大きく宣伝し

ていた。また、水越峠も路上駐車がひどいと住民が困っている。2エリアともバス空白地となるが対策は。

**答** 自転車の活用を検討する。

### 住宅セーフティネット制度で空き家対策を

**問** 5年前に空き家計画を作成したが、進捗は。

**答** 進捗状況の検証が必要だと考えている。

**問** 空き家に関する相談

はどの程度あるのか。

**答** 少ない。

**問** 空き家の問題で困っているのは、持ち主だけではなく周辺住民も同じである。持ち主以外でも相談と扱う姿勢が必要では。

**答** 空き家バンクに登録してもらえよう案内する。

**問** 国は住宅セーフティネットの構築に空き家の利活用を進めている。河南町でも利用しては。

**答** この制度を活用することで空き家対策に繋がると考えている。対象者への情報提供を積極的に行いたい。

**問** 相談に来た住民に情報提供するより、放置された家屋の所有者や管理者へ情報提供しては。

**答** 研究する。

### 子宮頸がんワクチン接種前にウイルス保持検査を

**問** 国の資料では、HPVワクチンで副反応が出



▲HPV保持検査で、子宮頸がん予防ワクチンの不要な接種を防いで！

る確率が0・05%、その内の数%は重大な副反応とある。不要な接種を避けるためにも、ウイルス保持が分かる抗体検査を事前に行っては。

**答** 抗体検査で陽性であったものの追跡が必要となる。必要な実施体制や対象者の定義は国でも検討されているので、その内容を注視していく。

**問** ワクチンを接種しても、ガン化の可能性は高くない。ワクチンを推奨するより子宮頸がん検診の受診率アップが必

要では。

**答** 町内の子宮頸がん検診の受診率は22・7%である。あらゆる機会に受診の勧奨を行っているが、さらに力を入れて取り組まないといけない。

**問** HPVは男性の肛門がん、中咽頭がんなどの原因になっている。男女間での感染の広がりを防ぐためにも男性への接種も有効では。

**答** 2020年12月から男性への任意接種も承認されている。



▲住宅セーフティネット制度を利用して、空き家対策を。

廣谷 武 議員



町の路線バス運行に伴う交通空白地

問 金剛バス廃業の結果、平石地区や持尾地区、青崩地区など路線バスが通らない交通空白地となった。300人以上の住民の足を確保しなければならぬ。町行政は今後をどのように考えているのか。

答 現在運行している、やまなみタクシーの活用で当面対応したい。今後は、新たに生じた課題を解決し、やまなみタクシーの運行方法など、利用者のニーズに応じ検討する。

問 ライドシェアは、タクシーが不足している地域や時間帯で一般ドライ



▲路線バスが廃止となり、交通空白地となった地区の交通確保の考えは。

問 誰でも誰でも通園制度の実施は

答 実施に向けて制度設計を検討

バーの自家用車を活用できるシステム。バスが通らない公共交通機関の無い町として、国や府に働きかけてはどうか。

答 運転手不足で、公共交通、バス、タクシーも含めて交通問題が生じているのは認識している。

兵庫県養父市で、モデル事業が行われている。町としても、いろいろな交通の形を検討していく必要がある。

町の観光資源の整備について

問 バス路線廃止に伴い、

金剛山や葛城山、岩橋山に行くためには、路線バスでは行けなくなり、これまで以上に駐車場が必要になる。今の現状は。

答 青崩地区の旧国道を峠の方へ行くと千早赤阪村が管理する駐車場約40台が駐車可能。町が管理する駐車場は、青崩地区、平石地区とも無い状況である。岩橋山の登山口となる平石地区とは、協議を進めていく。

問 平石地区のトイレ整備は。

答 地区から新設トイレの具体的な設置場所の提案があり、事業に合った財源の確保に努めている。

誰でも誰でも通園制度について



▲町の観光資源を生かすための施設を整備する必要があるのでは。（写真は、青崩地区にある駐車場。）

問 異次元の少子化対策として、誰でもでも通園制度ができるが、どういうものか。また、町の現状はどうか。

答 全ての子育て家庭に対し、多様な働き方やライフスタイルにかかわらずない形での支援強化をすするため、現行の幼児教育・保育給付に加え、6か月から2歳までの未就園児を対象に、月10時間を上限で、就労要件を問わず、

柔軟に利用できる新たな通園給付である。町ではこの制度とは別に、平成21年度から保護者の就労形態にかかわらず、6か月から就学前の子ども

の一時預かりを、かなりぴあ内のぽけっとルームで実施している。今後は、国の制度との関係性を整理し、本格的な実施に向けて制度設計を検討していく。





# 問 バス購入にいくら掛かったのか？

## 答 約6,500万円の支出となった

**問** 納入時期が大幅に遅れた「カナちゃんバス」2台約5400万円に加え、今回購入を余儀なくされた中古大型バスの5台1100万円合計金額が約6500万円となりました。いずれも、高額な購入金額に他なりません。また、今後それらの維持費も上乘せされます。そこで、バス購入時の契約内容、主に保証や点検修理などについて伺います。それは、新車で届いたか



▲カナちゃんバスなどの故障。修理や保証は？

**答** カナちゃんバスについて、14年程前の年季の入ったものを含んでいます。それらを含め伺います。

期には、メーカー保証の期限に基づく保証があり、点検、整備は町内指定業者およびメーカーが行うことになる。また、中古大型バスについては、保証などは特になく、これまでメンテナンスなどを行ってきた整備事業者を引き継ぎをお願いすることになる。

『新たな交通サービス』に要する費用は？

**問** 続いて、『新たな交通サービス』に必要な費用はどの程度見込んでいるのか伺います。今回、影響を及ぼす4市町村の中でも河南町は富田林市に次ぐ予算が必要であるとされています。また、バス利用者やそうでない住民の人たちからは、これまでの住民サービスに大きな影響はないのかという、懸念する声も聞かれています。河南町初の実験として行われる事業であるため、未知数の部

分も多々あることは承知しますが、様々な要因から今後の財政運営は厳しいものと考えられます。さらに、長期戦となるこの事業の方向性も含め伺います。



▲新たな交通サービスに必要な費用は？

な額になることが予測されるので、まずは、国庫補助金や府補助金の活用について、4市町村で連携して国・府に要望したいと考える。さらに、今後の町政運営は『新たな交通サービス』の運行に伴う負担に加え、物価の高騰や賃金アップによる財政支出も増高することとなり、非常に厳しい環境にあると認識している。

これが聞きたいのねん

一般質問(個人)

福田 太郎 議員



問 防災対策の備えにおいて

答 必要に応じて看板設置を検討

問 住民皆さんへのさまざまな災害時の備えなど

を見据えて、現在の案内誘導図板や避難誘導標示表などの見直しと取り付け事業に取り組んでもらえないか。

高輝度蓄光式避難所誘導看板97枚を町内の電柱に取り付けている。

問 各地域への防災補助金について、以前より防災組織への助成金増額を提言しているが、各地区に年3万円の助成金を、

今後は年10万円へ増額はできないのか。それとも

町内5校区の1校区ごとに対し、年100万円の助成金の配布はできないのか。

問 1地区3万円の上限を10万円の上限に増額することや、5つの自主防災組織に100万円の助成については財政的にも難しいと考えている。

町行財政改革について

問 現在、町の正職員の町外・町内の居住者数と居住率について、今後の今以上の居住者数と居住率の向上に向けて、取り組んでもらえるのか。

答 町正職員の町内の居住者数・居住率の向上の取り組みですが、居住の

自由があり強制はできないため、町の移住や定住

施策推進の中で可能な範囲で促し考えていく。

問 歳入面での取り組みについて、町でも高齢者

世帯が増加し、住民税の非課税世帯が増え、税収の歳入減を考える中で少しでも多く税収を増やす方策は考えているのか。

答 町外からのふるさと納税の促進や生産年齢人口の町内定着を図っていくことが重要であると考えている。今後も子ども・子育て施策の充実を図り、生産年齢人口の確保により歳入の増加に取り組んでいきたい。

町選挙投票について

問 総務省での公職選挙



▲高齢者が投票しやすいように、各地区の集会所で投票できるようにできないか。

法の一部改正により選挙権年齢が満18歳まで引き下げられた。町の若年者

層の有権者へ、投票の啓発活動と投票率の向上に、どのような取り組みをされるのか。

答 若い世代への投票率向上のため、今後より多くの投票を行ってもらうため、18・19歳の有権者も含め、全ての有権者の

投票率向上を図るため広報活動に努めていく。

問 各投票所の改善策の一環として、高齢者を重視し、以前と同様に各地区集会所での投票ができるように取り組んでもらえないのか。

答 今後必要に応じて改善には検討し、利便性の向上を図っていきたい。



▲災害時の避難誘導できる看板の設置を。

高田 伸也 議員



# 問 バス運行に伴う多額な負担金の軽減方法は 答 財源確保を目指し国や府に要望していく

## 町の活性化について

**問** 現在の町の転入と転出者数は。その実態をどう評価しているのか。

**答** 平成30年度以降は、転出超過であったが、令和4年度では、7人の転入超過となっている。これは、教育環境が整った事、子育て・教育世代への支援策として、第2子以降の保育料無償化、学校給食費無償、乳幼児給食費の副食費助成、18歳

以下の子ども医療費助成、19歳から22歳までの医療費助成などの支援の結果と考えている。

**問** 「ベンチャーサポート」制度の条件や実績は。

**答** この制度は、地域産業の発展と創業促進を目的としており、さまざまな要件を満たせば、上限で10万円(経費の2分の1)を補助され、更に空き家または空き店舗を事業所として起業する場合、上限は20万円となる。現時点で1件の申請があり

交付を決定した。

**問** 大阪芸大卒業生を町のPR大使に任命したり、魅力的な学生街を構築するなど、芸術大学と町の継続的な繋がりは可能か。

**答** 今後、大学内でのコンサートへの住民参加やPR大使・魅力的な学生街についても研究したい。

## 地域公共交通の課題と将来について

**問** 12月21日から、朝7時台のカナちゃんバスの運行が無くなるため、登下校に利用していた町立中学校の生徒が苦慮している。たとえば、小学生児童降車後のスクールバスの帰りを活用するような事は可能か。

**答** バス路線を維持する為には、カナちゃんバスの車両も利用せざるを得ず、まずは駅への通勤・通学の移動手段の確保を最優先と考えている。さらに、スクールバスの利用は、始業時間に間に合

わない、委託料が増加するなどから、困難である。

**問** 町における次年度以降のバス運行負担金見込みは、約1・2億円と想定されているが、その負担を軽減すべく協議会などで、国や府に対して、助成金(交付金)を要望するの活動は行われないのか。

**答** この運行負担金は、あくまで予算額であり、運行実績に応じて負担額が確定される。また、4市町村広域協議会において財源確保できるように国や府に対して要望してい

く。

**問** 大阪・関西万博で披露目される「自動運転のバス」の運行なども含めた町の地域公共交通の未来と、町の庁舎周辺の将来の姿を示してもらいたい。

**答** 府では、大阪・関西万博後に自動運転バスの4市町村エリアでの走行を検討されている。河南町では町中心地区を、町内外との交通ネットワークの連結拠点としての整備を考えており、新たな賑わいの創出を目指している。



▲将来の地域公共交通の課題は？  
(写真は、旧庁舎跡地周辺のイメージ模型。)

▶河南町へ転入・転出者数の実態をどう評価しているのか？  
(写真は、町の移住・定住ガイドブック。)



松本 四郎 議員



『河南町まちづくり計画  
(2021～2025)  
の中間検証』

安全安心に住めるまち  
地域の防災力強化に  
ついて



▲GIGAスクール教育での先生・生徒の対応状況と課題は。

**問** 町の消防団員数は令  
**答** 町の消防団員数は令  
**問** 地域の防災と安全を  
守る消防団の団員数状況  
と団員の維持確保はどう  
しているのか。  
**答** 町の消防団員数は令  
**問** 地域の自主防災組織  
の確保に努めている。

**問** 一人1台タブレット  
端末を使用したGIGA  
スクール構想教育に関し、  
児童・生徒と教職員双方  
の対応状況と課題は。  
**答** 児童・生徒の対応状

**問** 旧庁舎跡地とその周  
辺地、白木小学校跡地、  
河内小学校跡地の活用見  
通しと活用時期は。  
**答** 旧庁舎跡地とその周  
辺地は、町中心地区再編  
整備基本構想を令和5年  
6月に策定。個人地の所  
有者などにも説明し、具  
体的な計画図面作成に向  
けて周辺地域の現況測量  
を行っており、住宅や店  
舗・事務所などに活用で  
きるよう地区計画の準備

**問** 旧庁舎跡地とその周  
辺地、白木小学校跡地、  
河内小学校跡地の活用見  
通しと活用時期は。  
**答** 旧庁舎跡地とその周  
辺地は、町中心地区再編  
整備基本構想を令和5年  
6月に策定。個人地の所  
有者などにも説明し、具  
体的な計画図面作成に向  
けて周辺地域の現況測量  
を行っており、住宅や店  
舗・事務所などに活用で  
きるよう地区計画の準備

**問** 活動に対する補助金など  
の支援は。  
**答** 町内の5つの自主防  
災組織に対し組織を構成  
する地区数に3万円を乗  
じた補助金を交付し、自  
主防災組織の運営、防災  
訓練活動および研修会な  
どの費用や資機材の購入  
補助をしている。補助以  
外にも町内5つの自主防  
災組織の長で構成する自  
主防災連絡協議会で連携  
や情報共有を行っている。  
**子育てと教育のまち  
教育の質のさらなる  
向上について**

**問** 旧庁舎跡地とその周  
辺地、白木小学校跡地、  
河内小学校跡地の活用見  
通しと活用時期は。  
**答** 旧庁舎跡地とその周  
辺地は、町中心地区再編  
整備基本構想を令和5年  
6月に策定。個人地の所  
有者などにも説明し、具  
体的な計画図面作成に向  
けて周辺地域の現況測量  
を行っており、住宅や店  
舗・事務所などに活用で  
きるよう地区計画の準備

**問** 旧庁舎跡地とその周  
辺地、白木小学校跡地、  
河内小学校跡地の活用見  
通しと活用時期は。  
**答** 旧庁舎跡地とその周  
辺地は、町中心地区再編  
整備基本構想を令和5年  
6月に策定。個人地の所  
有者などにも説明し、具  
体的な計画図面作成に向  
けて周辺地域の現況測量  
を行っており、住宅や店  
舗・事務所などに活用で  
きるよう地区計画の準備

**問** 旧庁舎跡地とその周  
辺地、白木小学校跡地、  
河内小学校跡地の活用見  
通しと活用時期は。  
**答** 旧庁舎跡地とその周  
辺地は、町中心地区再編  
整備基本構想を令和5年  
6月に策定。個人地の所  
有者などにも説明し、具  
体的な計画図面作成に向  
けて周辺地域の現況測量  
を行っており、住宅や店  
舗・事務所などに活用で  
きるよう地区計画の準備

和3年9月末75人で平均  
年齢は49・7歳、令和5  
年9月末68人で平均年齢  
は50歳。団員の確保は町  
広報紙で団員募集掲載や  
各地区の区長などに団員  
募集依頼を行っている。  
この他令和4年度には団  
員報酬の見直しなど団員  
の確保に努めている。

況については、人前で自  
分の意見を言うことが苦  
手な子も意見を発する姿  
がみられるようになった。  
更に端末やICT技術の  
活用により不登校児童・  
生徒への授業配信が可能  
となり、別室登校の児童  
が教室に入る回数が増え  
た。教職員においては、  
豊富な資料提示や自動採  
点・分析など、働き方改  
革に繋がる可能性を有し  
ている。課題としては、  
教職員のICT教育活動  
のスキルの向上、また運  
用面では家庭学習のルー  
ルやトラブル発生時の対  
応などがあり、課題解決  
に取り組んでいく。

況については、人前で自  
分の意見を言うことが苦  
手な子も意見を発する姿  
がみられるようになった。  
更に端末やICT技術の  
活用により不登校児童・  
生徒への授業配信が可能  
となり、別室登校の児童  
が教室に入る回数が増え  
た。教職員においては、  
豊富な資料提示や自動採  
点・分析など、働き方改  
革に繋がる可能性を有し  
ている。課題としては、  
教職員のICT教育活動  
のスキルの向上、また運  
用面では家庭学習のルー  
ルやトラブル発生時の対  
応などがあり、課題解決  
に取り組んでいく。

況については、人前で自  
分の意見を言うことが苦  
手な子も意見を発する姿  
がみられるようになった。  
更に端末やICT技術の  
活用により不登校児童・  
生徒への授業配信が可能  
となり、別室登校の児童  
が教室に入る回数が増え  
た。教職員においては、  
豊富な資料提示や自動採  
点・分析など、働き方改  
革に繋がる可能性を有し  
ている。課題としては、  
教職員のICT教育活動  
のスキルの向上、また運  
用面では家庭学習のルー  
ルやトラブル発生時の対  
応などがあり、課題解決  
に取り組んでいく。

況については、人前で自  
分の意見を言うことが苦  
手な子も意見を発する姿  
がみられるようになった。  
更に端末やICT技術の  
活用により不登校児童・  
生徒への授業配信が可能  
となり、別室登校の児童  
が教室に入る回数が増え  
た。教職員においては、  
豊富な資料提示や自動採  
点・分析など、働き方改  
革に繋がる可能性を有し  
ている。課題としては、  
教職員のICT教育活動  
のスキルの向上、また運  
用面では家庭学習のルー  
ルやトラブル発生時の対  
応などがあり、課題解決  
に取り組んでいく。



▲公共施設の跡地活用。今後の見通しと活用時期は？



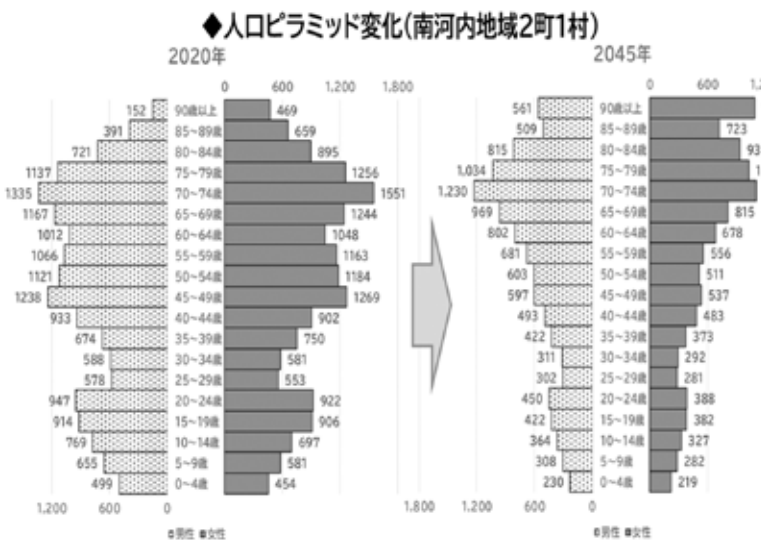
## 問 子育て世帯の住民税の減税を

## 答 町独自の減税は難しい

### 人口減少対策

**問** 過去30年の年齢別人口の動向は。

**答** 平成2年と令和2年の国税調査の人口比較です。10歳未満が318人、10歳代が830人、20歳代が1016人、30歳代が257人、40歳代が166人の減少。50歳代が



▲町の、人口減少の対策は？

**問** 子育て世帯や子どもが複数いる世帯に対して住民税を減税している自治体がある。町も同じように住民税の減税はできないのか。

**答** 個人住民税は行政サービスに係る費用をそれ

しているが、子育て世帯定住促進などを推進していくことで20年後は、1万4900人を見込んでいる。

**問** 現在、行っている人口減少対策の施策は。

**答** Uターンや転出抑制を目的に三世帯同居・近居支援事業。教育・子育て世帯への経済的支援策として、第2子以降の保育料無償化事業、学校給食費無償化事業、乳幼児給食費の副食費助成。安心して子育てができるよう18歳以下の子ども医療費助成、19歳から22歳までの医療費助成のかなん医療・U-22などを行っている。

**問** 子育て世帯への住民税の減税は？

**答** 子育て世帯への住民税の減税は、その負担能力に応じて分担するという性質の税金である。税負担については、子育て世帯は扶養年齢に応じ控除額が設定されている。16歳未満は扶養控除がないが、その分児童手当で補填されている。地方自治体独自で標準税率未満を採用することは可能だが、住民税を河南町のみ引き下げることでは住民税額を基準とする国や地方自治体からの給付金や各種保険料に影響を及ぼすことや、住民税の減税は多方面への

影響を及ぼす恐れがある。税の公平性の観点からも子育て世帯への町独自の減税は難しい。

**問** 税収を増やすために他の自治体が嫌がるような施設の誘致などは考えているのか。

**答** 施設を立地することにより交付金が交付される場合がある。しかし、そのような施設を誘致する考えはない。地域住民に大きな影響が生じると考えられるため、住民の理解を得ることも困難である。

その負担能力に応じて分担するという性質の税金である。税負担については、子育て世帯は扶養年齢に応じ控除額が設定されている。16歳未満は扶養控除がないが、その分児童手当で補填されている。地方自治体独自で標準税率未満を採用することは可能だが、住民税を河南町のみ引き下げることでは住民税額を基準とする国や地方自治体からの給付金や各種保険料に影響を及ぼすことや、住民税の減税は多方面への



▲子育て世帯への、住民税の減税は？

大門 晶子 議員



### 問 学力状況調査の公表は検討を

### 答 近隣市町村を参考に検討する

#### 生きる力となる教育は

問 町の子どもたちの学力の現状は。

答 小学校では、国語・算数とも全国・府の平均を下回り、記述式の問題で課題が見られる。中学では、国語は府の平均

を上回り、数学・英語では全国・府の平均を上回る結果となった。

問 人としての成長過程で重要と思われる国語力をどのように身に付けさせていくのか。

答 国語科の授業を中心に言語活動を通して育成を図るが、教育委員会と

しては各学校と連携し、授業の在り方については適宜、指導助言していく。

問 新学習指導要領で求められる学校づくりや教員に求められる対応をどう受け止め、各学校と調整しているのか。

答 子ども自身の学びが主体的で対話的で深い学びとなるよう、教師が日々の授業の中で学習場面を保証している。ペアワーク・グループワークのような学習形態や単元途中での児童・生徒の評価を行うことが定着している。調整は、町の指導主事により、校内研修や各校が実施する研修授業の際に指導助言を行っている。

#### 問 今回の質問の総まとめ

めとして、教育長の考えは。

答 生きる力を育成していくということは、これからも引き続きやっていく。生きる力というのは、確かな学力、豊かな心、健やかでたくましい体力、それをバランスよく身に付けさせることが大事。ただ、学力は大事なもので、学力状況調査の結果を真摯に受け止め改善していく。

#### 町長の総括を

問 この4年間を振り返って、町長の総括を。

答 町のまちづくりを進めるべく継承と更なる発展を目指し、安心して暮らせるまちでは、消防の



▲学校給食

▲町長の4年間を振り返っての自己総括は？



▲電子地域通貨

広域化による消防力の強化や上下水道の安定経営のため大阪水道企業団への統合を進めた。公共交通ではカナちゃんバスの車両の更新、ICカード決済の導入。子育て・教育のまちでは、学校給食費の無償化。18歳までの医療費の助成。19歳から22歳までのU-22の事業の推進、新たな元気を創出するまちでは三世代同居・近居支援に取り組ん

できた。住民・町内事業者支援として電子地域通貨、カナちゃんコイン事業の推進など。財政運営は、新型コロナウイルス感染症対策や住民の生活支援を最優先としたことから、決算規模では今までにない大きな額となったが、将来の子育て教育の施策推進のための基金の積み立てや、金剛バスの事業廃止に伴う代替交通確保もできた。



▲生きる力となる教育。子どもたちの国語力などの学力の現状は？

力武 清 議員



## 問 令和6年度からの介護保険料は

答 出来る限り抑えられるようにしたい

- 問** 令和3～5の間の8期目の主な取り組みは。
- 答** テーマとしては、介護予防や自立に向けてのアセスメント訪問や専門職による短期集中の訪問指導、通所訓練など構築してきた。
- 問** 基金は令和5年度で7700万円くらいある。約3千万円増えているが、保険料の算定は妥当であったのか。
- 答** コロナ禍という特殊事情などもあり、見通しがどうであったかは、計りかねる。
- 問** 要介護認定者は950人余り18・7%となっているが動向は、どの様に見ているのか。
- 答** 団塊の世代が後期高齢者となることから要介護認定者は増加していく。
- 問** 施設利用者の待機者の把握は。
- 答** 町内の特別養護老人ホームの待機者はここ5年では概ね15人前後で推移している。



▲公共施設での省エネの取り組み。LED化への検討は？

- 問** ケアマネジャーと地域包括とのフォロー体制情報の共有化、連携は。
- 答** 空き状況の情報提供やサービスなどの提案や調整など行っている。

### 公共施設の省エネ化の取り組み

- 問** 温室効果ガスの排出量を減らすこと省エネ化の一環である照明器具の現状は。
- 答** LED化していない施設は、中村こども園の一部、近つ飛鳥小学校普通教室と特別教室の一部、体育館、中学校の校舎、総合体育館の会議室・廊下・アリーナ・ホール、総合運動場、テニスコートなど。
- 問** 蛍光灯の場合、原材料に水銀を使用している環境への影響を考慮し「水俣条約」によって製造と輸出入が禁止となった認識と見解は。
- 答** 今後、LED化に公共施設が率先しなければ



▲路線バス運行委託後の、今後の協議会の役割りと権限は。

- 問** 金剛バスの廃止は大きな関心が寄せられ、社会問題となった。廃止を受けて、4つの自治体で対応する協議会が設置され、近鉄・南海バスを始め、複数の運行を委託することにになり、住民は安心。この間の協議会や事務局の尽力に敬意を表す。協議会の役割りと権限は。
- 答** 路線の廃止や変更、新規路線の設定、便数や

### バス問題

- 問** 中学生の利用は。
- 答** カナちゃんバスの利用は令和4年度、8980人で17%。
- 問** 中学生の料金が100円から240円になる。何らかの対応策を。
- 答** 通勤・通学の移動を優先に考えた。
- 問** 定期券、回数券などの学割りは。
- 答** 回数券は、廃止になるが、定期券・学割りは現行通り。

これが聞きたいのねん

一般質問(個人)

# 今年の干支 「辰」の作品展

議会だよりの新年号の表紙のため、町立中学校の美術部の生徒さんたちに描いていただいた作品です。

新年号の表紙として使用できなかった作品ですが、とても可愛らしく、楽しい作品でしたので掲載させていただきました。



## 定例会議開催中

令和6年2月定例会議を開催しています。  
3月6・7日 一般質問  
3月8日 閉会  
※日程は、変更になる場合がありますので、問い合わせは議会事務局へ。

## 編集後記

今号では、バスに関連する予算や条例などの審議について掲載しています。12月20日で路線バスが廃止され、4市町村の協議会で近鉄や南海のバス事業者とで代替えの路線バスを運行することとなり、現在、住民の皆さんの重要な移動手段であるバスの運行をしています。運行には、とても多くの予算が必要ですが、継続してバスの運行ができるよう議会も協力していきます。3月。暦の上では、春です。3月5日は「啓蟄」。冬の間は地中で冬ごもりをしていた昆虫たちが、地上に出てくる頃とされています。もう春も間近です。町の木「桜」の見頃が待ち遠しいです。